

決算報告書

令和4年度
(第19期事業年度)

自：令和4年4月1日
至：令和5年3月31日

国立大学法人旭川医科大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,969	4,967	△ 2	(注1)
施設整備費補助金	10	10	0	
補助金等収入	680	1,723	1,043	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	-	
自己収入	24,653	25,305	652	
授業料, 入学料及び検定料収入	613	578	△ 35	(注3)
附属病院収入	23,786	24,396	610	(注4)
雑収入	253	329	76	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	853	1,127	274	(注6)
引当金取崩	-	57	57	(注7)
長期借入金収入	488	424	△ 64	(注8)
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	137	137	(注9)
計	31,673	33,770	2,097	
支出				
業務費	28,518	28,262	△ 256	(注10)
教育研究経費	5,018	4,511	△ 507	
診療経費	23,499	23,750	251	
施設整備費	516	452	△ 64	(注11)
補助金等	680	1,695	1,015	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	853	948	95	(注13)
長期借入金償還金	1,104	1,095	△ 9	(注14)
計	31,673	32,455	782	
収入-支出	-	1,315	1,315	

※百万円未満切捨てにより表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給が当初予定より少額であったこと等により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症の診療従事及び体制確保に対する各種補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,043百万円多額となっております。なお、授業料等減免費交付金が28百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注3) 授業料、入学科及び検定料収入については、主に授業料収入が減少したため、予算額に比して決算額が35百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価の増等により、予算額に比して決算額が610百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、学生奨学資金貸与の回収増及び新型コロナウイルス感染症の診療従事及び体制確保に対する財政支援を受けたこと等により、予算額に比して決算額が76百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等のうち95百万円については、昨年度以前に受け入れて本年度使用した金額となっております。また、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人）及び民間からの受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が274百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、法人措置教職員の退職手当の支給に伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が57百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、予算段階では予定していなかった一部事業の繰越が発生したことにより、予算額に比して決算額が64百万円少額となっております。
- (注9) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、事業の進捗に伴い取崩を行ったため、予算額に比して決算額が137百万円多額となっております。
- (注10) 業務費については、光熱水費の高騰による物件費の増、また（注2）による補助金の交付を受けたことで執行額が減じたことにより、予算額に比して決算額が256百万円少額となっております。
- (注11) 施設整備費については、（注8）と同様の理由により、予算額に比して決算額が64百万円少額となっております。
- (注12) 補助金等については、（注2）と同様の理由により、予算額に比して決算額が1,015百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注6）と同様の理由により、予算額に比して決算額が95百万円多額となっております。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入利率変更等のため、予算額に比して決算額が9百万円少額となっております。